

同志社中学校

Asia STEAM Camp

2017年7月30日

アジアものづくり授業交流プロジェクト、国際STEMプロジェクトの一環として、アーテックと共同で開催したAsiaSTEAM Camp'17。ロボットプログラミングの教育に力を入れている香港の小中学生、日本からは鳥取の青翔開智中学、韓国、台湾、ベトナム、そして同志社中学校と異国の小中学生が集まりました。進行、説明などすべて英語。ロボット・プログラミング・国際理解など今の教育界の課題にダイレクトに応える取り組みでした。次世代を担う子どもたちの教育に国境を超えて技術科は応援していきます。

京都新聞に掲載

技術@DJHS

京 都

第3種郵便物認可

協力しあって手作りした飛行機を飛ばす子どもたち
(京都市左京区・同志社中)



同志社中生とアジアの子ども、飛行機製作 国際交流羽ばたけ 英語で親睦深める

同志社中の生徒とアジアの子どもたちが交流する「アジアSTEAMキャンプ」が29日、京都市左京区の同中で始まった。参加者たちは、英語でコミュニケーションを取りながら、発泡スチロールの飛行機を共同で製作し、親睦を深めた。

キャンプは、国際感覚を養いながら科学技術を学ぶために同中が昨年度に始めた。同中や鳥取市の私立中の生徒をはじめ、韓国、香港、台湾、ベトナムから小中学生計34人が参加した。

この日は、3人一組で11チームに分かれ、発泡スチロールを使って全長約80㎝ある飛行機作りに挑戦。翼の湾曲や角度、重心の位置などに注意を払いながら、約2時間かけて協力しながら完成させた。その後、実際に飛行機を飛ばし、飛距離を競い合った。

同中3年山本有紗さん(15)「右京区」は「海外の人と交流したくて参加した。もっと英語を勉強したいと思った」と話していた。キャンプは30日までで、ロボットコンテストも行う。(藤松奈美)